

ルクセンブルク経済・金融（2018年3月）

1 統計関連

- 2018年3月のインフレ率は年率で1.1%（前月1.02%）（4月4日付統計局プレスリリース）
- 2018年2月の失業率は5.7%（前月5.6%，前年同月6.0%）（3月20日付統計局及び職業安定所プレスリリース）
- 当国における就業率は2017年第4四半期よりも3.6%増加した。また、越境労働者の人数は4.3%上昇した一方で、当国に居住する労働者の人数は3%増加した。（3月15日付 **Luxembourg Times**）
- 前年と比較すると、2017年に当国で一晩以上を過ごす観光客数は300万人増加した。特にルクセンブルク市は前年比で6%増加した。（3月6日付 **Luxembourg Times**）
- EU委員会はルクセンブルクを、ベルギー、キプロス、ハンガリー、アイルランド、マルタ、オランダと共に、タックスプランニングが過激に行われている（**aggressive tax planning**）国の一つとしてリストアップした。当国の法人税収はおよそGDPの4.6%である（EUにおける平均は2.6%）。（3月7日付 **Luxembourg Times**）
- **the Nomad Passport Index** による199国を対象とした国籍の価値のランキングで、ルクセンブルクは1位になった。評価基準としては、当該国パスポートでビザなしで旅行できる国・地域数、二重国籍あるいは多国籍所持の是非、言論の自由、メディアの自由、軍隊における規則、国家スパイプログラム、居住していない国民に対する法律などが含まれる。（3月11日付 **Luxembourg Times**）
- **Standard and Poor's** 社が、当国の金融業界をトリプルエー（AAA）であると評価付けた。（3月18日付 **Luxembourg Times**）
- 欧州統計局によると、EU諸国の中でルクセンブルクは平均時給が最も高い。2016年の時点で当国の平均時給は43.8ユーロであった。なお、EU内平均は23.1ユーロ、ユーロ圏内の平均時給は26.9ユーロである。（3月22日付 **Luxembourg Times**）
- **The Global Financial Centres Index (GFCI 23)** はルクセンブルクの金融センターを21位（前年14位）とランク付けた。（3月27日付 **Luxembourg Times**）
- EU統計局によれば、当国の輸入額の83%はEUの他の国からの輸入であり、特に、最大の輸入元は32%でベルギーである。他の主な輸入元はフランスとドイツである。また、2017年1月から2018年1月の間における当国の輸出額は12%減少し、EU諸国の中で唯一輸出額が減少した国となった。また、同時期における当国の対非EU諸国への輸出は50%減少した。（3月28日付 **Luxembourg Times**）

2 政府等関連

- 当国政府はエアバス社とサイバーセキュリティや宇宙開発技術関連の研究においてパ

ートナーシップを強化するM o Uを締結した。シュナイダー副首相兼経済相は、同M o Uは産業、イノベーション、及び研究に対する戦略の一部で、当国によるN A T O及びE Uの安全保障面への経済的貢献を強化することに役立っているとした。(3月21日付Luxembourg Times)

● 次の20から30年にかけて、ルクセンブルク市キルシュベルク地区におよそ8000件の不動産物件が建築予定である。既存の1510件と合計して、およそ1万件の不動産物件となる見込み。(3月22日付Luxembourg Times)

● 当国金融規制局(C S S F)は、仮想通貨による新規資金調達(I C O : initial coin offering)に関し、国内法やE U規制が存在せず中央銀行や預金保険制度による法的保護がないため、投資額の完全喪失の可能性があるとして、投資家に向けて危険性を喚起した。また、C S S Fは、仮想通貨の価値は完全に、通貨保持者と使用者の間の信頼で維持されていると指摘した。(3月14日付Luxembourg Times)

● 当国政府と当地の人工衛星運用会社S E S社との官民合弁企業 GovSat 社が開発した軍事利用も可能な衛星 GovSat-1は、安全なコミュニケーションを政府と企業間で可能にするため、業務を開始した。衛星打上当時、緑の党(dei Lenk)は二機目の衛星の打上に反対しており、当国の政府案を否決している。(3月19日付Luxembourg Times)

3 企業関連

● ルクセンブルクの宇宙関連技術のプロバイダーである Kleos Space 社と GomSpace 社(デンマーク籍の企業)は200万ユーロ以上の衛星システムのプロジェクトを進めることに合意した。同プロジェクトでは海上安全保障や探索、救助、情報収集活動のために、電波による位置情報を収集する。同衛星の打ち上げは翌年初頭を計画している。また、Kleos Space 社は同社のアジア太平洋地域における存在感を高めるために、オーストラリアのキャンベラ市に支店を開くことを決定した。(3月1日付、27日付Luxembourg Times)

● ルクセンブルク大学は、大学内に、スタートアップ企業向けプログラムのインキュベーション施設を創設した。(3月7日付Luxembourg Times)

● イギリスのファンドマネジメント企業である Schroders 社は、Brexit以降も引き続き、同社のE U本拠をルクセンブルクに置くことを発表した。(3月1日付Luxembourg Times)

● 当国に進出している中国系銀行、中国農業銀行が当国証券取引所のグリーンファイナンス等専用プラットフォームに、世界で初めて、中国国内で発行されたグリーンボンドを国際市場向けに上場した。なお、本件に関し、グラメーニャ財務相は、中国とルクセンブルクが「共同で一带一路政策をグリーンなものにする」と述べた。(3月10日付Luxembourg Times, Letzebuenger Journal 紙, Le Quotidien 紙)

● スイスのファンドマネジメント企業である UBS アセットマネジメント社は初めてルクセンブルクでU C I T S認可を得たオンショアの人民元ファンド、the UBS (Lux) Bond Sicav-China Fixed Income (RMB)を設置した。(3月15日付Luxembourg Times)

- 当国証券取引所（LuxSE）と上海清算所との間で、長期的な協力を通して、国際的な投資家が中国本土のグリーンボンドへアクセスできるようにするM o Uを締結した。本M o Uには、世界最大のグリーンボンド市場である中国インターバンク市場で取引されているグリーンボンドに対する、中国本土の債券発行者と国際投資家との間の情報の差を削減する目的がある。また、本M o Uにより、LuxSE のグリーンボンド上場に関する専門性と、上海清算所の中国インターバンク市場を世界と繋ぐ施策により、中国のグリーンボンドの国際的な可視性（international visibility）と透明性を向上させることとしている。（3月28日付 Chronicle.lu）
- ルクセンブルク国際銀行（B I L : Banque International a Luxembourg）は2017年の純利益が前年比5.7%増。B I Lについては、中国の投資銀行である、レジェンドホールディングス（Legend Holdings）が前年9月に、カタールの王室が所有していたB I Lの株式の90%を15億で買い取っている。（3月29日付 Luxembourg Times）
- シンガポール銀行（Bank of Singapore）はルクセンブルクでEU本拠を構えることを決定した。（3月29日付 Luxembourg Times）
- La Societe Luxembourgeoise des Energies Renouvelables S.A.（Soler）社が風力発電所を7機新設し、合計24機とすることを決定した。（3月30日日付 Chronicle.lu）

4 大臣等動向

- ルクセンブルクと韓国は、1日、社会保障協定に署名。（1日付政府広報）
- 2-5日 シュナイダー副首相兼経済相、第2回国際宇宙探査フォーラム（I S E F 2）出席のため訪日。（2日付政府広報）

※当国政府機関の公開資料や各種報道などの公開情報を取りまとめたもの